

25. 脳挫傷による遷延性意識障害が著明に改善した2症例

鈴木輝美*1) 白井 誠*1) 神林智作*2)

〔*1)東海記念病院高気圧酸素治療室〕
〔*2) 同 脳神経外科〕

【はじめに】脳挫傷による遷延性意識障害及びそれにとまなう各種血清酵素異常に対し高気圧酸素療法(以下HBO)が著効した症例を経験したので文献的考察を含めて報告する。

【症例1】21歳女性。1990年7月8日、交通事故にて近医に搬送。搬送時意識レベルはJCS200～300で、CT所見においては著明変化を認めず、MRIにて左大脳脚に軽度の脳挫傷を認めた。意識レベルの変化はなく経過し加えて持続する高熱を認め、肝、腎機能低下及び尿量の減少を呈した。受傷18日後当院へ転送。転院時(当院初診時)意識レベルは、JCS100～200-Rで、眼球変位がみられた。脳保護剤の投与とともに翌日よりHBOを施行した。2.0ATA, 60分間のHBOを2回施行した結果、意識レベルはJCS10-Rと急速に改善し、6回のHBOにてJCS 0,と著明に改善した。その後1ヵ月半の運動療法を経て、軽快退院した。各種血清酵素値も正常に復した。

【症例2】19歳男性。1995年5月29日交通事故にて当院搬入。搬入時意識レベルJCS200で、高熱が持続した。脳保護剤の投与とともに、受傷後3日より2.0ATA, 60分間のHBO施行。9回のHBOにて意識レベルはJCS 1～2と著明に改善した。高熱も意識レベルの改善とともに約10日間で下降し又それにとまない受傷後より高値を示していた各種血清酵素値も改善した。

【結語】脳挫傷によって起こる重症意識障害に対しHBOは、脳浮腫を消退させ治癒機転を促進し、なおかつ神経細胞の再生を促すとされる。さらに今回各種血清酵素異常に対しHBOが著効したと思われる症例を経験したので報告する。